

●たんぼのご推進事業

毎年、両小学校で、食育活動の一環として「農業体験」が行われています。

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が未だ終息しない中での体験となりましたが、マスク着用や間隔をあける等対策をとりながら、5月には田植え、9月には稲刈りが行われ、農業委員会もたんぼのご推進会議の一員として参加し、児童との交流を図りました。

また、秋から冬にかけて、児童の皆さんが収穫したお米の試食や農業にまつわる発表などを行う感謝祭が開催され、招待いただきました。



●農地パトロール（利用状況調査）の実施

農業委員会では、優良農地の確保および遊休農地の把握と解消等、農地の有効利用促進に向けて、毎年町内の農地を対象に利用状況（耕作中・保全管理・遊休化等）の調査を行っています。



今年度につきましても、9月から12月にかけて農業委員・農地利用最適化推進委員が連携し農地パトロールを実施しました。

今後も引き続き農地の有効利用の促進に向けて取り組んでいきます。

●湖国女性農業・推進委員協議会による女性の農業委員・農地利用最適化推進委員登用促進キャラバンの実施

10月25日、湖国女性農業・推進委員協議会による女性の農業委員・農地利用最適化推進委員登用促進キャラバンが実施され、町および農業委員会に女性の農業委員・農地利用最適化推進委員の登用促進のお願いについての文書が手交されました。



法人設立二年目を迎えて

株式会社喜農園竜王 谷村 彰夫

山之上（西出）の谷村彰夫と申します。祖父母の後を継いで、農業を約20年しております。2021年11月より法人化をしました。社名については、祖父、喜一から喜の字と祖母、玉江から玉の字を貰いまして、喜（よろこび）農園竜王（りゅうぎょく）としました。英語表記で表すとジョイファームドラゴンボールです。

現在は私と両親、従業員4名と助っ人で応援に来てくれる人たちで、サクランボ、桃、梨、柿など果樹を中心に、スイートコーン、白菜、水稲なども作っています。

経営理念は『農業の可能性を追求し、家族、働く仲間、取引先、お客様、そして地域社会と喜びを共有し、共に成長し、明るい豊かな社会の実現に貢献します』と掲げております。僕は、近江八幡青年会議所というボランティア団体に3年ほど所属させて頂いていた時に、自分の事だけではなくて、地域や周りの人の事もしっかりと考え

れる人間になりたいと思うようになりました。

3〜4年前から若い社員にも恵まれ、家族だけで仕事をしていた時は、親子喧嘩も多かったですが、今は楽しく仕事を出来ている実感があります。本当にありがたいです。

時代も祖父の産まれた、大正から、昭和、平成そして、令和も5年目となります。どんどんと、時代も価値観も変化していると思います。そんななかで、先人の残してくれた、田畑をしっかりと受け継ぎ、値打ちのあるものに出来るようにしていきたいと強く思っています。

若い方で、僕らと一緒に、山之上、竜王、農業界を盛り上げていくてくれる方がいたら、ぜひ、（株）よろこび農園竜王の仲間になってください。ご紹介などお待ちしております。



編集・発行

竜王町農業委員会
TEL : 58-3712



きらり
ファーマー

変化

私は、令和3年4月より株式会社田楽に就職し、現在2年目の冬を迎えております。弊社は、水稲・麦・大豆に特化し、橋本を中心に水稲750反、大豆・麦250反を手掛けています。

私は、就農するまで農業の仕事とは無縁で、農作物を育てるのも小学生以来で、農作業に至っては右も左も分からず見る事なす事、全てが初めてで新鮮に感じる日々を過ごしています。農作業をするとなるとその作業の意味をいながらコツコツと勉強を積み重ねています。

1年目は「何の為にこの作業をしているのだろうか？」と疑問が山積みでしたが、2年目は前年の経験から作業の解像度が高まり、見える景色が広がっていくのを感じました。家の近所で農作業をされている方がいると、見学させて頂いたり、作業のアドバイス聞いた田園風景が特別な価値を持つ不思議な感覚を憶えました。トラクターなどの機械にも疎く分からない事だらけで、始めはよくトラブルを起こしていました。今も分からない事の方が多いです。

株式会社田楽 佐々木 健二
ですが、以前よりもトラブルに対して冷静に対処、処置を施す事が出来るようになりました。

以前は分からなかった事が経験値が上がり、理解できるようになる事が楽しく少しずつ成長を実感しています。

ただ正直なところ、私がこれからのような農業を目標にするのか、どんな挑戦をしていくのか明確なビジョンはまだ持ち合わせておりません。ネガティブな思考や怠慢な態度に思われるかも知れないですが、私がこれから知る知識や経験、交流する担い手さん、地域の特性、時勢や農業哲学など。それらの先に自分の信念や言葉を見つけていきたいと考えております。



農地転用完了後は届出が必要です！



「**農地転用**して家が建った！」「田をしていたけど、**田畑転換**して畑になった！」
→農業委員会から許可された目的物が完成したら、**完了報告**が必要です！
完了報告書の提出をお願いします。

詳しくは竜王町農業委員会まで御相談ください

竜王町賃借料情報

令和4年1月から令和4年12月までに締結（公告）された賃貸借における賃借料水準（10a 当たり）は、以下のとおりとなっております。

令和5年1月10日

竜王町農業委員会

	平均額	最高額	最低額	データ数	備考
田	7,200 円	11,000 円	2,700 円	548 筆	
畑	5,300 円	7,200 円	5,000 円	17 筆	
樹園地	10,000 円	10,000 円	10,000 円	28 筆	
【参考】 使用貸借（無償で使用する契約）				72 筆	

◆注意事項

- ※1 農地法第52条の規定に基づき、農地の賃貸借の際の目安としていただくため、情報提供するものです。
- ※2 令和4年1月から令和4年12月に実際に締結(公告)された農地の賃貸借契約の賃借料をもとに作成したものです。
- ※3 実際の賃借料は、耕作条件等を勘案し、当事者間で話し合いの上決定してください。
- ※4 平均額の算定については、データの平均値±(平均値×70%)を超えるものを除いたデータを対象としています。
- ※5 この情報の作成にあたり、賃借料が物納支給のものは対象外としています。
- ※6 金額は、算出結果を四捨五入し100円単位としています。

あとかぎ

編 | 集
委 | 員

松瀬伊
西村幸千代
近藤浩一
小出豊

田中眞穂
西村 之宏
松林 八好
杢村 要

令和4年度 農業委員会 活動報告

●竜王町農業委員会研修を終えて

農業委員会では、農地等の利用最適化推進の取り組みを一層推進することを求められていることから、今年度の現地視察研修として圃場の大区画化による集積・集約・経営規模の拡大、農業施設の再整備を推進しておられる東近江市上平木町および近江八幡市安土町内野の集落営農法人に伺いました。両法人ともに早くから圃場の集積・集約に取り組まれており、その過程では様々な補助金・助成金を巧みに利用され、地域への負担を軽減するなどして地域の理解を得やすい取り組みのほか女性の方の積極的な参加による野菜作りなど工夫されていました。

その様な経営を行う上で特に感じたのが、地域をリードするリーダーの存在とそのリーダーシップで築き上げられた組織の重要性でありました。一方で、今後さらに農業経営を取り巻く状況は厳しくなっていく中で、大区画化やスマート農業等の新技術の導入を考えていくと、後継者の育成が重要になってきますが、このような先進の地区においても難しい課題であると認識されていきました。

現在、本町においては農業の方向性と施策を示す、竜王町農業振興ビジョンの策定が推進されています。農業委員会といたしましても、住民皆様方の御意見、今回の研修で学んだこと等を活かして、町（行政）、JA、集落営農法人、担い手のそれぞれの連携により、後継者の育成等本町農業を取り巻く様々な課題に取り組んで行きたいと思います。



●町に対し意見書および要望書を提出しました

12月12日、竜王町に対し「竜王町農地等の利用の最適化の推進に関する意見書」および「竜王町農業施策等に関する要望書」を提出しました。

「竜王町農地等の利用の最適化の推進に関する意見書」

- 1 担い手への農地利用の集積・集約化について
 - (1) 認定農業者等担い手の確保・育成
 - (2) 担い手への支援
 - (3) 人・農地プラン（地域計画）
- 2 遊休農地の解消について
- 3 新規参入の促進について
- 4 農地の適正利用について
 - (1) 違反転用の防止について
 - (2) 下限面積要件の廃止に伴う対応について

「竜王町農業施策等に関する要望書」

- 1 自然災害被害等への支援について
- 2 農業生産基盤の整備と保全について
- 3 有害鳥獣対策について
- 4 女性農業委員登用の維持拡大について
- 5 竜王町農業振興ビジョンの策定推進について
- 6 その他



意見書・要望書の内容については
下記QRコードを読み取ってください。

〈意見書〉



〈要望書〉

